

# 2021年度乗務員年間教育計画

株式会社ささき観光

	安全教育	マナー・生活指導・健康管理	車両・環境管理
4月	<b>事業用自動車の運行の安全及び旅客の安全を確保するために遵守する基本的事項</b> <b>危険の予知及び回避並びに緊急時における対応方法</b> 安全方針・安全重点施策の周知徹底 外部講師：佐伯警察署による安全教育 春の交通安全運動実施	運行マニュアル(社内規定) 身だしなみの徹底  <b>健康管理の重要性</b>	車両の取扱説明書確認  車両備品チェック
5月	<b>事業用自動車を運転する心構え</b> <b>乗車中の乗客の安全確保をするために留意すべき事項</b> ドライブレコーダーの記録を利用した運転者の特性に応じた安全運転 ドライブレコーダーの記録を利用したヒヤリ・ハット体験等を自社内で共有	休憩、休息のとり方  <b>健康管理の重要性</b>	アイドリングストップの徹底 燃費向上について  車両備品チェック
6月	<b>交通事故に関わる運転者の生理的及び心理的要因及びこれらへの対処方法</b> <b>乗客の保護(応急手当)</b> <b>異常気象時における対応方法</b>	夏バテ防止対策  <b>健康管理の重要性</b>	正しい日常点検の実施  車両備品チェック
7月	<b>危険の予知及び回避並びに緊急時における対応方法</b> <b>労基法 改善基準告示</b> 夏の交通安全運動実施 シヤトルバス運行の注意点	熱中症の予防、対策 冷房の使用の仕方  <b>健康管理の重要性</b>	急のつくような事はしない エアコンの操作と故障時の対応  車両備品チェック
8月	<b>事業用自動車を運転する心構え</b> <b>安全性の向上を図るための装置を備える事業用自動車の適切な運転方法</b> ドライブレコーダーの記録を利用した運転者の特性に応じた安全運転 ドライブレコーダーの記録を利用したヒヤリ・ハット体験等を自社内で共有	定期健康診断の全員受診  <b>健康管理の重要性</b>	仮眠施設の使用方法 燃費向上について  車両備品チェック
9月	<b>主として運行する路線若しくは経路又は営業区域における道路及び交通の状況</b> <b>運転者の適性に応じた安全運転</b> 秋の交通安全運動実施	健康診断受診結果による個人指導  <b>健康管理の重要性</b>	安全な速度と車間 シートベルトの案内 車両備品チェック
10月	<b>事業用自動車の構造上の特性</b> <b>危険の予知及び回避並びに緊急時における対応方法</b>	<b>健康管理の重要性</b>	エコドライブ  車両備品チェック
11月	<b>事業用自動車を運転する心構え</b> ドライブレコーダーの記録を利用した運転者の特性に応じた安全運転 ドライブレコーダーの記録を利用したヒヤリ・ハット体験等を自社内で共有 <b>労基法 改善基準告示</b>	<b>健康管理の重要性</b>	車内暖機運転の短縮  車両備品チェック
12月	<b>危険の予測及び回避並びに緊急時における対応方法</b> 外部講師による安全教育 救命救急訓練 <b>非常用信号用具、非常口、消火器等の取扱い方法</b> 雪道、凍結時の路面教習及びタイヤチェーンの脱着訓練 年末年始の安全総点検	アルコールの危険性について 薬物の影響について 適性診断の受診  <b>健康管理の重要性</b>	車両を用いた急ブレーキ等の操作方法 スタッドレスタイヤ使用について タイヤチェーンの脱着教習 車内装備品の総点検 車両備品チェック
1月	<b>事業用自動車の運行の安全及び旅客の安全を確保するために遵守する基本的事項</b> <b>交通事故に関わる運転者の生理的及び心理的要因及びこれらへの対処方法</b> 重大事故、災害時の初動連絡体制の確認	適性診断者に対する個人指導  <b>健康管理の重要性</b>	アイドリングストップの徹底 燃費向上について  車両備品チェック
2月	<b>事業用自動車を運転する心構え</b> <b>旅客が乗降するときの安全を確保するために留意すべき事項</b> ドライブレコーダーの記録を利用した運転者の特性に応じた安全運転 ドライブレコーダーの記録を利用したヒヤリ・ハット体験等を自社内で共有 運行管理者、整備管理者研修	定期健康診断の受診  <b>健康管理の重要性</b>	車両備品チェック
3月	<b>2021年度総まとめ復習教育</b>	健康診断受診結果による個人指導  <b>健康管理の重要性</b>	車両清掃、消毒について 車両備品チェック

- ※ 1年を通じてミーティングの予定時間の半分の時間を使い、ドラレコ動画、教育用DVDを活用する。動画を利用する理由としては、実際の道路上で発生した事故、ヒヤリハット、交通トラブル等を参考にし危険の予知、予測等を参加者で話し合う。その結果、事故を回避及び仮に事故になったとしても被害を最小限にし重大事故を防ぐ。
- ※ 年間を通じて健康管理に気を付け、調子が悪い時や健康診断の結果によってはすみやかに医師に相談し診察、治療を受ける。又、感染症対策を毎回徹底する。
- ※ 新人、高齢者、事故惹起者、ピックアップ乗務員について随時個人指導をし、安全運転、サービス向上につなげる。又、適時外部講師による研修も取入れスキルアップにつなげる。